

第54期 報告書

平成26年3月1日 ▶ 平成27年2月28日

株式会社 **イズミ** 証券コード：8273 <http://www.izumi.co.jp>

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先] ^(※)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先] ^(※)	☎ 0120-782-031

(※) 平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

インターネットホームページアドレス
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

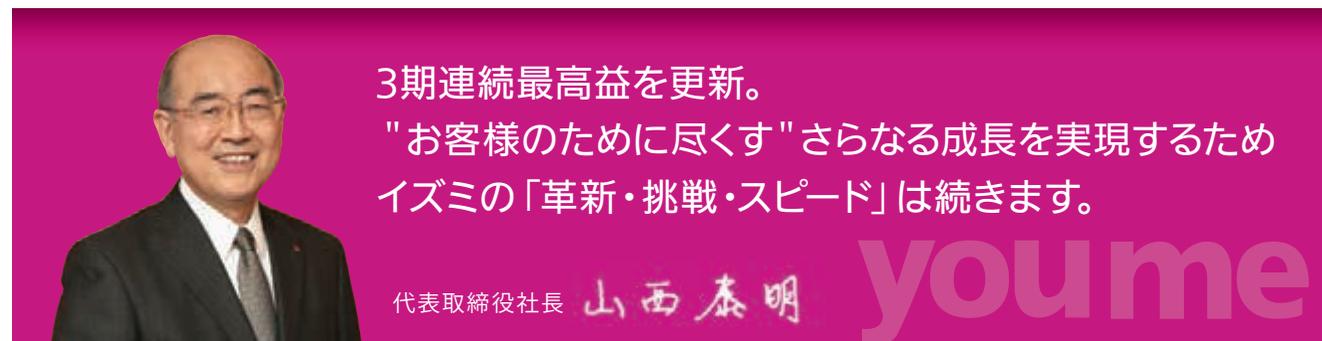
■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



**you
me**

株式会社 **イズミ**



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の小売業を取り巻く環境は、円安や原油安、輸出持ち直しなどによる景気の回復傾向がある一方、小売業界においては消費者物価上昇や実質所得の減少が個人消費を下押しし、低調に推移しました。

当社グループでは、過去最高益を更新した前期に続き、企業としてさらなる成長を実現すべく、“お客様のために尽くす”を実行方針として、品質・価格ともに競争力のある品揃えの提供に努めるとともに、売場の付加価値を高める取り組みを強化しました。

店舗面では、旗艦店「ゆめタウン広島」で最大規模のリニューアル実施をはじめ、既存店の活性化を積極的に推進するとともに、「ゆめタウン大江」など3店の新店舗を開設しました。

さらに将来の成長を見据え、今年1月には「イズミ広島物流センター」を新設し稼働を開始。輸送効率を一段と向上させるとともに、鮮度を求められる商品のスピード配送を実現しました。

中核事業である小売事業では、高品質・高鮮度の商品を値頃価格で提供する“いいものを安く”に磨きをかけ、二極化する消費行動に対応するとともに、市場特性に応じて、投入商品や価格設定を見直し、PB商品など競争力ある品揃えの充実を努めました。また、販売動向の仮説による重点商品投入や楽しい売場演出などで集客を図り、販売増加に繋がりました。

そして既存店の活性化を積極的に実施し、各店舗で食品などの直営売場の拡張や品揃えの強化、有力テナントへの入れ

替えを推進し店舗競争力を強化しました。(既存店売上高1.8%増)また、株式会社スーパー大栄及び株式会社広栄の株式を取得し連結子会社としました。各社の地域に根差した品揃えのノウハウの共有を進めるとともに、スケールメリットを生かした業務効率の改善に取り組みました。

小売周辺事業では、引き続きクレジット利用推進や電子マネー「ゆめか」の利用拡大を推し進め、地域やプロスポーツチーム、プロスポーツ球団と連携した地域限定の「ゆめか」は特に好評を得て、地域通貨としての地位を高めました。

これらの結果、当期の売上高・営業利益とも増加し、過去最高益を更新することができました。つきましては、これらの成果を株主の皆様へ還元させていただきたく、1株当たり配当金を年間で51円へと増配させていただきます。

次期につきましては、消費環境は依然として不透明な状況にある中で、一方では賃金の上昇などによる消費環境の改善も予想されています。当社グループとしては、環境の変化に伴うお客様ニーズの変化を的確にとらえ、引き続き“いいものを安く”を強化してまいります。

また、6月には大型店舗「ゆめタウン廿日市」を出店。その後も2店舗新設するほか、既存店の大型増床などハード・ソフト両面からの強化を図る予定で、地域ドミナントの更なる拡大と企業成長を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

進化し、深化する「youme」を
地域になくしてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。

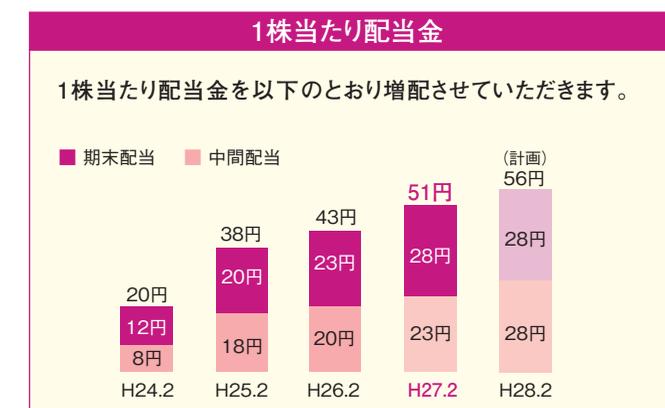
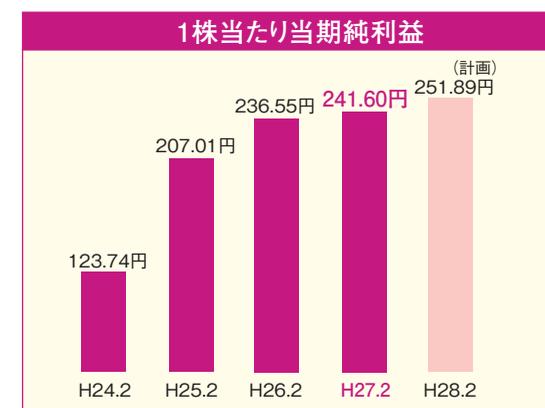
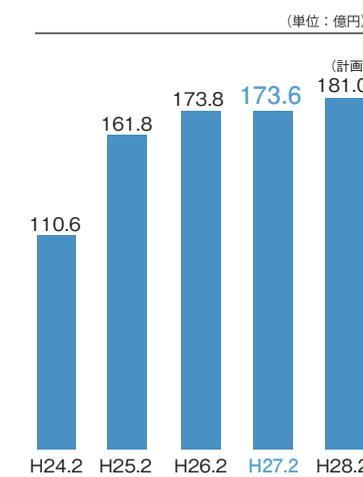
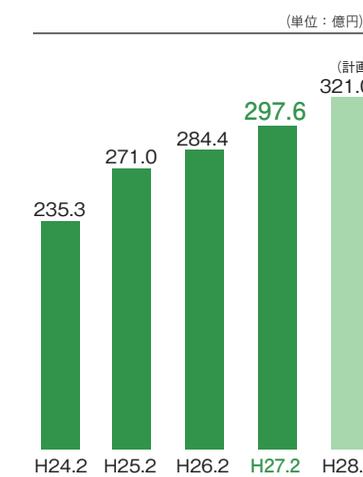
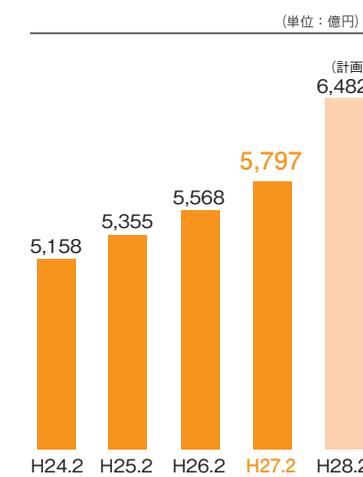


連結財務ハイライト

営業収益	
	前年同期比
5,797 億円	104.1 %

経常利益	
	前年同期比
297.6 億円	104.6 %

当期純利益	
	前年同期比
173.6 億円	99.9 %



5年間準備を重ねた最高のゆめタウン。まもなくオープン!

ゆめタウン廿日市

官民連携によるビッグプロジェクト「シビックコア」の拠点施設として期待と注目が集まる「ゆめタウン廿日市」。

6月のオープンに向けて、いよいよ秒読み段階に入りました。ゆめタウン史上「最大・最高」のおどろきと感動を備えた新店舗の魅力と特長をご紹介します。

店舗概要

敷地面積/約51,000㎡ ・延床面積/約179,000㎡
店舗面積/約46,000㎡ ・駐車台数/約3,400台



おどろきと感動 その1

ワクワク感も最大級

敷地も店舗面積もゆめタウン史上最大のスケール! 店内は3層吹き抜け構造で、1周550m(中国地方最大)におよぶサーキットモールに、約200の専門店が集結。そのうち57店舗が広島初登場です。



おどろきと感動 その2

これまで以上の飲食機能

瀬戸内海が見渡せ、14店舗900席もあるビッグなフードコート。フードコートだけでも、毎日訪れたいほど魅力的です。



おどろきと感動 その3

女性支持No.1パウダールーム

女性にとってトイレは癒やしとリフレッシュの大切な空間。店内8箇所のトイレは、機能とデザインにこだわりぬき、女性支持No.1のパウダールームをめざしました。



おどろきと感動 その4

最新のエコシステム

店舗屋上に350kwの太陽光発電パネルを設置。売場照明は全面的にLEDを採用、空調には地中熱を導入するなど、エコで快適な店内環境を創造します。



中国地方ドミナント戦略を深化させる施設稼働開始!

イズミ広島物流センター

2015年1月15日、イズミのドミナント戦略の要となる大型物流センター「イズミ広島物流センター」が広島市商工センターに完成し、稼働を開始しました。

当センターはドライ・チルドの機能を備えており、生鮮品をはじめ菓子や酒、惣菜などを一括集中して大規模に保管、仕分け、配送できるようになりました。このセンターの稼働により、イズミのドミナント戦略も一層の深化が可能になります。



音声物流で仕分け作業

自動仕分けソーター

ピッキングカート



4カ所の物流センターを統合

鮮魚・精肉・野菜など生鮮品や惣菜などのデイリーな配送品は、広島地区ではこれまで4箇所ある物流センターから、それぞれの店舗に配送するシステムでしたが、それらを新・物流センターで集中的に管理することで、保管・仕分け・配送効率を飛躍的に高めました。

広島県・山口県・島根県約40店舗をカバー

新・物流センターは、広島高速道路3号線や国道2号線バイパス、さらには山陽自動車道にもアクセス容易な広島市商工センター内に整備しました。この恵まれた立地により、広島県西部地区はもとより、山口県や島根県の店舗へも短時間でタイムリーに配送できる体制が整いました。

広島県	チルド26店舗・ドライ26店舗
山口県	チルド7店舗・ドライ5店舗
島根県	チルド6店舗・ドライ6店舗

新店と大型増床で地域一番店戦略をさらに推進します。

イズミでは一兆円企業に向けて、積極的に店舗戦略を展開しています。今期も新店舗としてゆめタウン廿日市とゆめマート佐賀中央をオープン。さらには好調のゆめタウン久留米とゆめタウン山口の大型増床を起工するなど、エリア内での競争力と存在感を、さらに強固にしていきます。



ゆめマート佐賀中央

平成27年・夏
OPEN 予定

佐賀市内の2号店として毎日の買い回りに特化!

佐賀県庁にも近く佐賀城や佐賀大学などの立ち並ぶ、佐賀市内中心部の落ちついた文教エリアに、今年夏をめざして「ゆめマート佐賀中央」の開店準備を進めています。佐賀市内には2006年よりゆめタウン佐賀を展開しており、2号店となる新店舗はゆめマート業態で展開します。日常的なご利用を想定し、生鮮食料品や普段の生活に便利な日用品を中心にした品揃えを計画しています。ゆめタウン佐賀とゆめマート佐賀中央という2業態を備えることで、佐賀商圏におけるyoumeブランドの存在感と競争力を、さらに高めていきます。



店舗概要 ・敷地面積/約11,500㎡ ・延床面積/約4,500㎡ ・店舗面積/約2,680㎡ ・駐車台数/約200台(屋上65台、平面135台) ・駐車台数/約110台

◎今後開業予定の新店舗



ゆめタウン久留米

平成27年・冬
増床
OPEN 予定

店舗概要 [増床前]・敷地面積/約84,200㎡ ・延床面積/約143,000㎡ ・店舗面積/約47,300㎡ ・専門店舗数/158店舗 ・駐車台数/3590台
[増床後]・延床面積/約153,600㎡ ・専門店舗数/約190店舗

13年目の大型増床でパワーアップ!

「ゆめタウン久留米」は、2003年の開業以来、地域にお住まいの数多くの皆さまから愛され続けています。その中で、社会やライフスタイルの変化にあわせてさらに進化して欲しいとの声を受け、大型増床を行うこととなりました。

今回の増床ではファストファッションやセレクトショップの導入と、キッズゾーンの拡充などにより、ヤングファミリー層のニーズにさらに強く応えていきます。また食ゾーンも専門性の高いテナントや品揃えを増やすことにより、3世代でご利用いただいた時に、さらに満足度の高い店づくりをめざしていきます。



ゆめタウン山口

平成27年・秋
増床
OPEN 予定

店舗概要 [増床前]・敷地面積/約42,000㎡ ・延床面積/約45,400㎡ ・店舗面積/約19,200㎡ ・専門店舗数/79店舗
[増床後]・敷地面積/約48,400㎡ ・延床面積/約50,300㎡ ・店舗面積/約24,700㎡ ・専門店舗数/102店舗予定

より楽しく、より快適なゆめタウンに進化します!

1997年に誕生した「ゆめタウン山口」は、山口県の旗艦店舗として、広域から多くのお客さまを集めてきました。昨年9月に生鮮食品やお惣菜コーナーを中心とした食品売場のリニューアルを行い、お客さまからご好評をいただいていることから、さらに「いいもの安い」を進化させるために、このたびの大型増床となりました。

増床後は、ファミリーファッションの導入やヤングカジュアルショップの充実などとともに、フードコートでの新店舗導入と席数の倍増など、ヤングファミリー層の満足度向上をめざして、きめ細かな増床リニューアルを計画しています。また店舗ばかりではなく、駐車台数も400台分増加させるなどして、地域一番店としての魅力を成長させていきます。





「全社員一丸となった「カイゼン」で、成果が上がっています。」

イズミは「一兆円企業」をめざして進んでいますが、それと同時に全社的に取り組んでいるのが、「利益率6%」の目標達成です。「売上1兆円・経常利益600億円」という高いハードルをクリアするため、店舗だけでなく物流部門や管理部門まで全社員が一体となって、小さなカイゼンをこつこつ積み上げています。

■ イズミのカイゼンの歩み

イズミでは、2S(整理・整頓)をベースにしたカイゼンに、2006年より取り組み始めました。カイゼンを加速するために、2011年からトヨタ式カイゼンを本格導入。各部門においてカイゼンを徹底し日常的な習慣となるように浸透を図っています。この活動を継続した結果、業務のムダを洗い出し、やり方を一つひとつ見直すことで効率が高まると、現場での意識も高まってきています。2014年12月に名古屋市で行われた「第31回ひとに優しい改善・提案フォーラム」にて成果を発表させていただきました。



■ カイゼン推進課を「部」に昇格

カイゼン活動の社内浸透にともない、より活動を拡大展開していくために、2015年より「カイゼン推進課」を「カイゼン推進部」としてパワーアップ！「売上1兆円・経常利益600億円」の目標達成のために、カイゼンをさらに発展させられるよう、次のステージへと歩みを進めています。



2015年度カイゼン推進の4大方針

- 1 原価低減活動を徹底
- 2 ロス・在庫の削減
- 3 2S活動とマニュアル定着
- 4 三行提案の定着と運用

コラム イズミ創業者山西義政のビジネス哲学と実践の書「道なき時代に、道をつくる」発刊

イズミは、戦後、焼け野原の露店からスタートし、さまざまな変革と挑戦を繰り返しながら、西日本最大の小売チェーンになるまでに成長いたしました。その背景には、激変する社会の中で「混迷の時代こそチャンス」という信念のもとに強いリーダーシップを発揮してきた創業者・山西義政の行動哲学があります。その哲学と言葉を一冊の書籍としてまとめたのがこの本で、そこには創業時から今日までの歩みを交え、イズミのDNAである「革新・挑戦・スピード」に込めた思いを綴っております。株主の皆さまにおかれましても、ご一読いただければ幸いです。



「ご当地ゆめか」で地域貢献。

毎日のお買い物時に、便利に使える電子マネー「ゆめか」。最近ではゆめタウンやゆめマートなどを飛び出し、街中で使えるお店が増えています。そんな流れの中でイズミでは「ゆめか」を活用して「新しい街づくり、地域への貢献」を進めるために、ご当地カラーを大切に「ゆめか」や地域のプロスポーツと連携した「ゆめか」なども積極的に発行しています。「ゆめか」が新しい地域通貨としての役割を果たし、地域の皆さまの利便性と活性化に寄与できるよう、これからも地域の店舗と協働しながら「ゆめか」の展開範囲を広げていきます。



コラム イズミの株主優待券がより使いやすくなりました！株主優待制度変更のお知らせ

株主の皆さまにおかれましては、日頃から厚いご支援をいただき、まことにありがとうございます。イズミでは、そんな皆さまへの感謝の気持ちから株主優待券を発行して参りましたが、このたび贈呈額と対象株数を変更し、より魅力的な制度へと進化させました。今後も「一兆円企業の夢」へ向けて進み続ける、イズミにご期待ください。

■ 1回あたりの贈呈額

変更前の優待内容(選択制)		
ご所有株式数	株主ご優待券	ギフト券
100株以上	5枚 (1,000円相当)	500円相当
1,000株以上	25枚 (5,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	50枚 (10,000円相当)	
4,000株以上	100枚 (20,000円相当)	
6,000株以上	150枚 (30,000円相当)	
8,000株以上	200枚 (40,000円相当)	
10,000株以上	250枚 (50,000円相当)	



変更後の優待内容(選択制)		
ご所有株式数	株主ご優待券	ギフト券
100株以上	10枚 (2,000円相当)	500円相当
200株以上	15枚 (3,000円相当)	
300株以上	20枚 (4,000円相当)	
400株以上	25枚 (5,000円相当)	
500株以上	30枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	50枚 (10,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	100枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	150枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	200枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	250枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	300枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	400枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	500枚 (100,000円相当)	

ともに「夢」を育てるイズミグループ

さらなる効率アップ、収益力アップをめざして

イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求してまいります。
各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客様に新たな驚きと感動をお届けしてまいります。



地域に密着したスーパーとして、地元熊本に根ざした商品を提供してまいります。

株式会社 ゆめマート

(株)ゆめマートは、熊本県下に19店舗を展開しております。一昨年の"youmeマート"への屋号変更や、昨年の株式会社西紅の合併と、経営効率の改善に取り組んでまいりました。本年度もさらに地域に密着したスーパーとして"お客様満足度NO.1"を合言葉に、品揃えの改善に努めてまいります。出店地域ごとのさまざまなご要望に対応した、地元熊本の美味しくて鮮度の良い商品を提供してまいります。併せて、店舗設備の改善を行い、快適にお買い物いただける環境を整えてまいります。



大藪牧場・くまもと半熟ヨーグルちょ



キムチの里・倭播椒



**キャッシュレス決済率50%到達！
さらなる向上を目指し取り組んでまいります。**

株式会社 ゆめカード

2014年度はグループをあげて電子マネー「ゆめか」の発行枚数拡大に取り組み、2015年2月末時点で累計発行枚数は475万枚を突破いたしました。また、イズミ直営売場におけるキャッシュレス決済率(総売上におけるクレジット+ゆめかの決済額比率)は、単月(2014年10月度)で50%を超え、多くのお客さまにご利用いただきました。今後は、量より質を重視し、キャッシュレス決済率のさらなる向上を目指し取り組んでまいります。



**イズミテクノは外部への業務拡大に挑戦しながら
地域文化の情報発信にも協力しています。**

株式会社 イズミテクノ

(株)イズミテクノは平成27年4月から指定管理者として、広島市の北部に位置する「安佐北区民文化センター」の管理運営を開始しました。安佐北区民文化センターは、子供からお年寄りまで多くの皆様が幅広く気軽に利用できる図書館を併設した多目的な地域総合施設です。当施設には、ホール、会議室、音楽室等があり、地域の皆様に利用いただいております。今後は、安佐北区の神楽団や演奏家の協力を得ながら文化事業を開催し、文化的な賑わいづくりを展開していきます。



安佐北区民文化センター

**大阪王将ゆめタウン博多店が、「キング・オブ・大阪王将」グランプリの
栄誉に輝きました！**

イズミ・フード・サービス 株式会社

4/17(金)に「大阪王将オーナーフォーラム2015」が開催され、全国360店舗の加盟店で競う「キング・オブ・大阪王将」のグランプリに、当社が運営する大阪王将ゆめタウン博多店が選ばれました。「キング・オブ・大阪王将」は、1年間にわたって7項目を総合的に評価され、最も高得点を獲得した加盟店が選ばれます。当社はこの栄誉を励みとして、大阪王将事業をミスタードーナツ、31アイス、たこ焼き、お好み焼きと並ぶ第5の事業として確立してまいります。



キング・オブ・大阪王将グランプリ2015

業績ハイライト

営業収益

5,797 億円

前年同期比
104.1%

経常利益

297.6 億円

前年同期比
104.6%

当期純利益

173.6 億円

前年同期比
99.9%

連結決算の推移

単位:百万円

	平成24年2月期	平成25年2月期	平成26年2月期	平成27年2月期	平成28年2月期計画
営業収益	515,875	535,510	556,852	579,739	648,200
前期比	102.7%	103.8%	104.0%	104.1%	111.8%
営業利益	24,254	27,949	29,100	30,330	33,300
前期比	111.3%	115.2%	104.1%	104.2%	109.8%
経常利益	23,539	27,102	28,446	29,767	32,100
前期比	112.4%	115.1%	105.0%	104.6%	107.8%
当期純利益	11,062	16,187	17,384	17,360	18,100
前期比	111.3%	146.3%	107.4%	99.9%	104.3%
総資産	370,377	379,824	397,071	432,416	—
純資産	125,389	126,139	130,178	145,709	—
1株当たり利益	123.74円	207.01円	236.55円	241.60円	251.89円
1株当たり純資産	1,388.45円	1,541.32円	1,672.92円	1,876.22円	—

単体決算の推移

単位:百万円

	平成24年2月期	平成25年2月期	平成26年2月期	平成27年2月期	平成28年2月期計画
営業収益	494,158	514,105	535,492	557,074	596,800
前期比	102.8%	104.0%	104.2%	104.0%	107.1%
営業利益	19,948	23,431	24,785	25,899	27,800
前期比	112.6%	117.5%	105.8%	104.5%	107.3%
経常利益	19,086	22,448	23,941	25,058	26,500
前期比	115.6%	117.6%	106.7%	104.7%	105.8%
当期純利益	8,965	12,508	15,549	14,761	15,400
前期比	109.6%	139.5%	124.3%	94.9%	104.3%
総資産	320,942	324,183	337,700	360,536	—
純資産	96,502	95,766	98,684	110,950	—
1株当たり配当金	20.00円	38.00円	43.00円	51.00円	56.00円

連結財務諸表

[連結]貸借対照表

単位:百万円

	前期 H26.2.28	当期 H27.2.28		前期 H26.2.28	当期 H27.2.28
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	70,895	82,692	流動負債	123,813	134,096
現金及び預金	6,800	13,380	支払手形及び買掛金	23,191	40,564
受取手形及び売掛金	25,482	28,540	短期借入金	46,726	20,387
商品及び製品	24,125	24,517	1年内返済予定の長期借入金	23,249	25,888
仕掛品	84	85	未払金	12,389	22,080
原材料及び貯蔵品	319	383	未払法人税等	5,287	6,987
繰延税金資産	2,631	2,687	賞与引当金	1,451	1,491
その他	12,086	13,726	役員賞与引当金	47	37
貸倒引当金	△ 635	△ 627	ポイント引当金	1,817	2,017
固定資産	326,175	349,723	商品券回収損失引当金	53	81
有形固定資産	284,033	304,162	資産除去債務	335	—
建物及び構築物	296,867	315,239	その他	9,264	14,560
減価償却累計額	△163,392	△178,561	固定負債	143,079	152,610
建物及び構築物(純額)	133,474	136,677	長期借入金	103,471	110,876
機械装置及び運搬具	6,055	6,623	リース債務	503	615
減価償却累計額	△ 4,646	△ 4,867	長期預り敷金保証金	22,966	23,119
機械装置及び運搬具(純額)	1,409	1,755	退職給付引当金	6,540	—
土地	141,011	147,469	役員退職慰労引当金	1,241	1,405
リース資産	876	1,331	利息返還損失引当金	329	273
減価償却累計額	△ 363	△ 638	退職給付に係る負債	—	8,193
リース資産(純額)	513	693	繰延税金負債	1,074	1,082
建設仮勘定	1,477	10,617	資産除去債務	6,501	6,723
その他	31,164	34,835	その他	449	321
減価償却累計額	△ 25,017	△ 27,886	負債合計	266,892	286,706
その他(純額)	6,147	6,949	(純資産の部)		
無形固定資産	7,418	7,985	株主資本	119,652	133,416
のれん	431	554	資本金	19,613	19,613
その他	6,987	7,430	資本剰余金	22,282	22,282
投資その他の資産	34,723	37,575	利益剰余金	94,517	108,283
投資有価証券	6,164	8,563	自己株式	△16,760	△16,763
長期貸付金	1,504	1,480	その他の包括利益累計額	558	1,402
繰延税金資産	5,468	5,285	その他有価証券評価差額金	822	1,785
敷金及び保証金	16,965	17,477	為替換算調整勘定	△ 264	—
その他	5,040	5,165	退職給付に係る調整累計額	—	△ 383
貸倒引当金	△ 419	△ 395	少数株主持分	9,966	10,890
			純資産合計	130,178	145,709
資産合計	397,071	432,416	負債・純資産合計	397,071	432,416

資産 4,324 億円
前期末比 ▶ 353 億円増加

・当期の有形固定資産及び無形固定資産の設備投資額は24,451百万円であり、これは主に店舗新設等によるものです。その結果、有形固定資産は、減価償却実施後で20,128百万円増加しました。
・受取手形及び売掛金は、クレジット取扱高の増加等により、3,057百万円増加しました。

負債 2,867 億円
前期末比 ▶ 198 億円増加

・支払手形及び買掛金は、期末日が銀行休業日であったため、決済が翌月初に持ち越されたこと等により17,373百万円増加しました。
・短期借入金及び長期借入金は、16,294百万円減少しました。

純資産 1,457 億円
前期末比 ▶ 155 億円増加

・利益剰余金は、配当金の支払により減少したものの、内部留保額の上積みにより13,766百万円増加しました。
・これらの結果、自己資本比率は31.2%となり、前期末の30.3%に比べて0.9ポイント上昇しました。

連結財務諸表

[連結] 損益計算書

単位:百万円

	前 期 H25.3.1~H26.2.28	当 期 H26.3.1~H27.2.28
営業収益	556,852	1 → 579,739
売上高	530,871	552,746
売上原価	418,677	435,815
売上総利益	112,193	116,930
営業収入	25,981	26,992
営業総利益	138,175	143,923
販売費及び一般管理費	109,074	113,592
営業利益	29,100	30,330
営業外収益	1,428	1,473
受取利息	145	147
受取配当金	71	102
仕入割引	361	307
債務勘定整理益	97	92
持分法による投資利益	41	244
違約金収入	107	87
その他	603	491
営業外費用	2,082	2,036
支払利息	1,716	1,614
その他	365	421
経常利益	28,446	2 → 29,767
特別利益	2,213	37
償却債権取立益	584	—
固定資産売却益	1,528	5
負のれん発生益	—	31
その他	101	0
特別損失	2,704	1,292
固定資産売却損	10	71
固定資産除却損	432	323
減損損失	2,054	464
子会社株式売却損	—	315
段階取得に係る差損	—	94
その他	207	23
税金等調整前当期純利益	27,955	28,511
法人税、住民税及び事業税	10,367	11,181
法人税等調整額	25	△ 238
法人税等合計	10,392	10,943
少数株主損益調整前当期純利益	17,562	17,568
少数株主利益	178	207
当期純利益	17,384	3 → 17,360

1 営業収益 5,797億円 前期比▶104.1%

売上高は前期比4.1%増の552,746百万円となりました。これは、堅調な既存店販売と店舗新設による販売増が寄与したこと等によるものです。売上総利益は、売上高対比で21.2%となり前期に比べ0.1ポイント上昇しました。販売費及び一般管理費は、新設店舗に係る新規採用や人事諸施策の実施に伴う人件費の増加等により前期比4.1%増の113,592百万円となりました。これらの結果、営業利益は前期比4.2%増の30,330百万円となり、売上高対比は5.5%と前期に比べ横ばいとなりました。

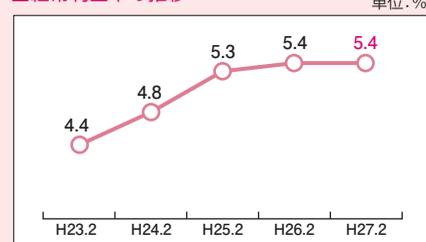
2 経常利益 297.6億円 前期比▶104.6%

営業外収益は、持分法による投資利益244百万円等を計上し、前期比45百万円増加の1,473百万円となりました。一方、営業外費用は前期比45百万円減少の2,036百万円となりました。これらの結果、経常利益は前期比4.6%増の29,767百万円となり、売上高対比は5.4%と前期に比べ横ばいとなりました。

3 当期純利益 173.6億円 前期比▶99.9%

当期純利益は前期比0.1%減少の17,360百万円となり、売上高対比は3.1%と前期に比べ0.2ポイント低下しました。また、1株当たり当期純利益は、241.60円(前期比5.05円増)となりました。

■ 経常利益率の推移



[連結] キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	前 期 H25.3.1~H26.2.28	当 期 H26.3.1~H27.2.28
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前純利益	27,955	28,511
減価償却費	12,827	12,902
減損損失	2,054	464
固定資産除却損	432	323
負のれん発生益	—	△ 31
売上債権の増減額	△ 3,397	△ 3,024
法人税等の支払額	△ 11,574	△ 9,551
その他	△ 2,615	22,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,683	52,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 25,381	△ 18,699
無形固定資産の取得による支出	△ 1,449	△ 943
その他	6,882	△ 1,254
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,948	△ 20,897
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長短借入金の増減	6,616	△ 21,685
自己株式の取得による支出	△ 8,989	△ 2
配当金の支払額	△ 2,994	△ 3,333
その他	△ 133	△ 137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,501	△ 25,159
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	242	6,189
現金及び現金同等物の期首残高	6,862	6,800
連結の範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 304	—
現金及び現金同等物の期末残高	6,800	12,990

[連結] 株主資本等変動計算書

単位:百万円

	株主資本					その他の包括 利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計			
当期首残高	19,613	22,282	94,517	△ 16,760	119,652	558	9,966	130,178
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 3,305		△ 3,305			△ 3,305
連結範囲の変動			△ 289		△ 289			△ 289
当期純利益			17,360		17,360			17,360
自己株式の取得				△ 2	△ 2			△ 2
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						843	923	1,767
連結会計年度中の変動額合計	—	—	13,766	△ 2	13,763	843	923	15,530
当期末残高	19,613	22,282	108,283	△ 16,763	133,416	1,402	10,890	145,709

営業活動によるキャッシュ・フロー 522億円の収入

- ・主な収入項目は、税金等調整前当期純利益28,511百万円、減価償却費12,902百万円です。
- ・主な支出項目は、法人税等の支払額9,551百万円、売上債権の増加額3,024百万円です。
- ・前期と比較すると26,563百万円増加していますが、これは主に期末日が銀行休業日であったため仕入債務の支払いが翌月初に持ち越されたこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー 208億円の支出

- ・主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出18,699百万円です。これは主に、当期の店舗新設等です。

財務活動によるキャッシュ・フロー 251億円の支出

- ・主な収入項目は、長期借入れによる収入32,075百万円です。
- ・主な支出項目は、長期借入金の返済24,322百万円及び短期借入金の純減29,438百万円です。

単体財務諸表

[単体] 貸借対照表

単位:百万円

(資産の部)	前期	当期	(負債の部)	前期	当期
	H26.2.28	H27.2.28		H26.2.28	H27.2.28
流動資産	39,980	49,120	流動負債	100,451	116,785
現金及び預金	3,167	7,713	買掛金	19,980	34,350
売掛金	6,349	7,986	短期借入金	33,982	16,132
商品	22,532	21,977	1年内返済予定の長期借入金	21,832	24,998
原材料及び貯蔵品	229	254	リース債務	35	37
前払費用	641	623	未払金	10,783	21,834
繰延税金資産	2,288	2,198	未払費用	1,514	1,596
短期貸付金	2,136	4,564	未払法人税等	4,285	5,996
預け金	663	1,711	未払消費税等	178	3,137
その他	2,061	2,191	前受金	1,311	1,379
貸倒引当金	△ 88	△ 101	預り金	1,218	1,336
固定資産	297,719	311,416	賞与引当金	1,232	1,248
有形固定資産	252,854	264,598	役員賞与引当金	1	1
建物	116,886	116,283	ポイント引当金	1,813	1,993
構築物	5,607	5,642	商品券回収損失引当金	53	81
機械及び装置	1,224	1,533	資産除去債務	335	—
車両運搬具	3	2	その他	1,891	2,660
工具、器具及び備品	4,958	4,770	固定負債	138,563	132,800
土地	122,212	125,342	長期借入金	102,604	96,505
リース資産	485	451	リース債務	485	448
建設仮勘定	1,476	10,572	長期預り敷金	19,698	19,932
無形固定資産	6,209	6,106	長期預り保証金	1,938	1,685
借地権	4,069	4,113	退職給付引当金	5,883	6,160
ソフトウェア	1,306	1,148	役員退職慰労引当金	1,184	1,235
その他	833	844	資産除去債務	6,404	6,604
投資その他の資産	38,655	40,711	その他	363	228
投資有価証券	3,197	4,403	負債合計	239,015	249,585
関係会社株式	3,150	4,684			
出資金	4	4			
関係会社出資金	790	828	(純資産の部)		
長期貸付金	1,504	1,480	株主資本	98,098	109,551
長期前払費用	966	873	資本金	19,613	19,613
繰延税金資産	4,745	4,384	資本剰余金	22,282	22,282
出店仮勘定	135	189	利益剰余金	72,960	84,415
差入敷金及び保証金	21,611	21,234	自己株式	△16,757	△16,760
その他	2,862	2,938	評価・換算差額等	586	1,399
貸倒引当金	△ 314	△ 310	純資産合計	98,684	110,950
資産合計	337,700	360,536	負債・純資産合計	337,700	360,536

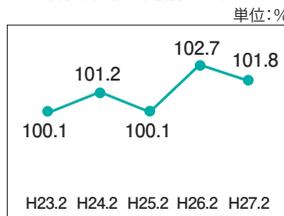
新規出店と閉店

期末店舗数	103 店舗
新設	3 店舗
閉店	2 店舗

既存店売上高前年比

既存店売上高前年比	101.8%
客数前年比	97.9%
客単価前年比	103.6%

■ 既存店売上高前年比



[単体] 損益計算書

単位:百万円

	前期	当期
	H25.3.1~H26.2.28	H26.3.1~H27.2.28
営業収益	535,492	557,074
売上高	509,897	530,507
売上原価	409,415	426,219
売上総利益	100,482	104,288
営業収入	25,594	26,566
営業総利益	126,076	130,855
販売費及び一般管理費	101,291	104,955
営業利益	24,785	25,899
営業外収益	1,197	1,114
受取利息及び配当金	228	266
仕入割引	360	307
債務勘定整理益	97	92
その他	511	448
営業外費用	2,041	1,955
支払利息	1,745	1,628
その他	295	326
経常利益	23,941	25,058
特別利益	2,294	2
固定資産売却益	1,576	2
投資有価証券売却益	0	—
特別配当金	717	—
特別損失	1,919	743
固定資産売却損	0	41
固定資産除却損	278	263
減損損失	1,641	438
税引前当期純利益	24,316	24,318
法人税等	8,767	9,556
当期純利益	15,549	14,761

営業収益

5,570 億円 前期比 104.0%

経常利益

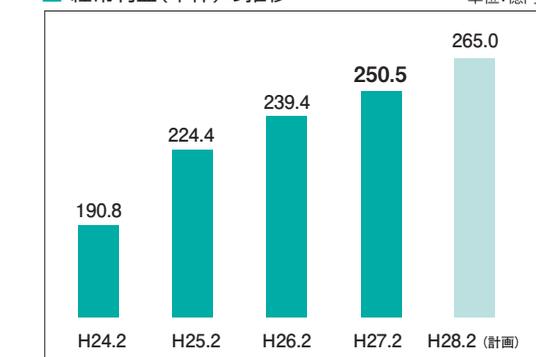
250.5 億円 前期比 104.7%

当期純利益

147.6 億円 前期比 94.9%

■ 経常利益(単体)の推移

単位:億円



[単体] 株主資本等変動計算書

単位:百万円

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計		
当期首残高	19,613	22,282	72,960	△ 16,757	98,098	586	98,684
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 3,305		△ 3,305		△ 3,305
当期純利益			14,761		14,761		14,761
自己株式の取得				△ 2	△ 2		△ 2
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						813	813
事業年度中の変動額合計	—	—	11,455	△ 2	11,452	813	12,266
当期末残高	19,613	22,282	84,415	△ 16,760	109,551	1,399	110,950

■ 会社概要

(平成27年2月28日現在)

設立年月日 昭和36年10月27日
 本社所在地 広島市東区二葉の里三丁目3番1号
 TEL 082-264-3211(代)
 資本金 19,613,856,196円
 従業員 正社員 2,347名
 パートタイマー 4,832名(1日8時間換算)
 店舗数 103店舗(エクセル単独店舗12店舗含む)

■ 中国地方 61店

広島県 33店 岡山県 10店
 山口県 12店 島根県 6店

■ 九州地方 29店

福岡県 14店 佐賀県 2店
 大分県 2店 長崎県 2店
 熊本県 9店

■ その他 13店

香川県 3店 兵庫県 4店
 徳島県 1店 その他 5店

■ 役員一覧

(平成27年2月28日現在)

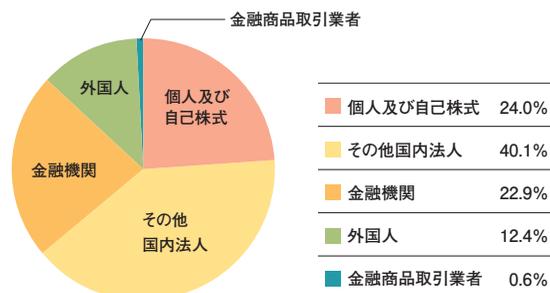
取締役会長 山西 義政
 代表取締役社長 山西 泰明
 専務取締役 梶原 雄一朗
 専務取締役 三家本 達也
 専務取締役 吉田 恒彦
 取締役 中村 豊三
 常勤監査役 川本 邦昭
 監査役 松原 治郎
 監査役 通堂 泰幸

■ 株式の状況

(平成27年2月28日現在)

発行可能株式総数 195,243,000株
 発行済株式の総数 78,861,920株
 株主数 3,791名
 1単元の株式数 100株

■ 単元株式の所有状況



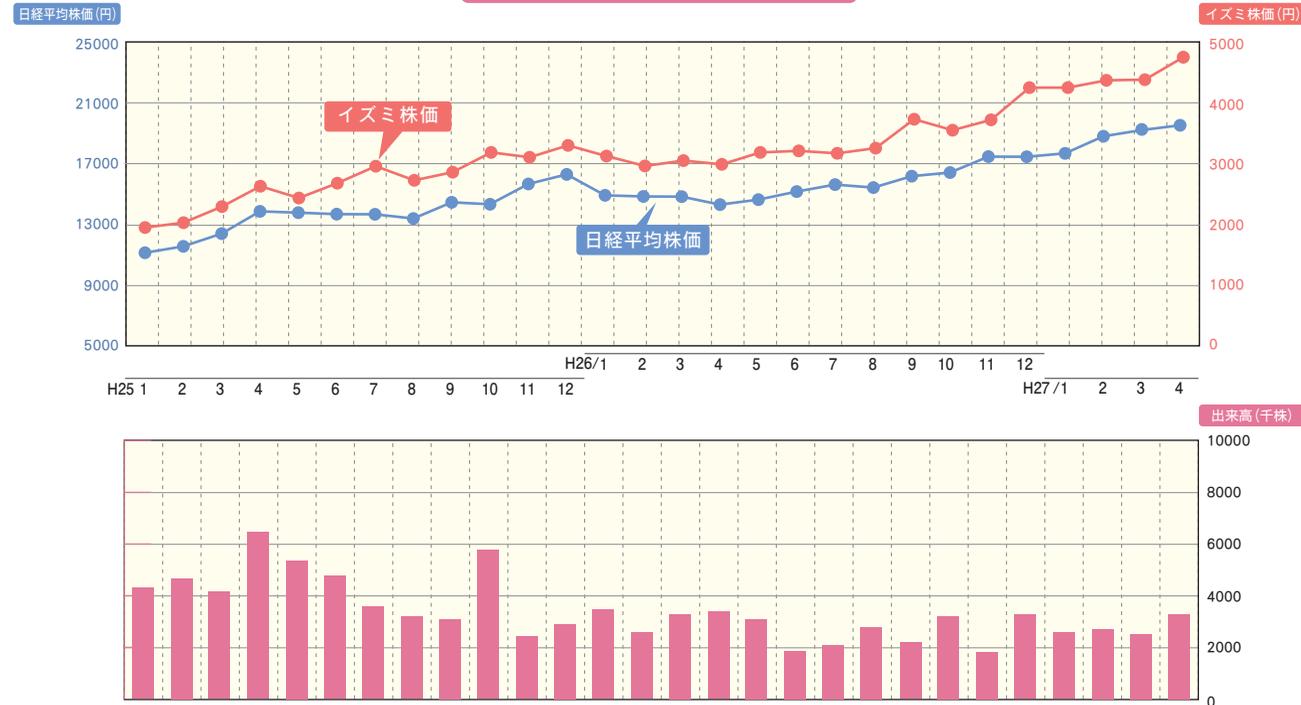
■ 大株主の状況

(平成27年2月28日現在)

株主名	持株数	持株比率
山西ワールド(株)	19,935千株	27.7%
第一不動産(株)	4,208千株	5.9%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,560千株	3.6%
(株)広島銀行	2,362千株	3.3%
日本生命保険(相)	2,300千株	3.2%
イズミ広島共栄会	2,141千株	3.0%
山西 泰明	2,035千株	2.8%
第一生命保険(株)	2,030千株	2.8%
全国共済農業協同組合連合会	1,495千株	2.1%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,462千株	2.0%

(注)持株比率は、自己株式(7,002千株)を控除して計算しています。

■ 株価の推移



■ 株主優待制度

■ 株主ご優待券またはギフト券

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下の通りお贈りいたします。

ご所有株式数	株主ご優待券	ギフト券
100株以上	10枚 (2,000円相当)	500円相当
200株以上	15枚 (3,000円相当)	
300株以上	20枚 (4,000円相当)	
400株以上	25枚 (5,000円相当)	
500株以上	30枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	50枚 (10,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	100枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	150枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	200枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	250枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	300枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	400枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	500枚 (100,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、2千円以上のお買上につき、2千円ごとに各1枚(200円割引券)をご使用いただけます。

■ 泉美術館ご招待券の贈呈

平成27年2月28日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様へ「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

本物の文化とやすらぎを…。

公益財団法人 **泉美術館**



■ 開館時間
 午前10時から午後5時
 (入館は午後4時30分まで)

■ 休館日
 月曜日(祝祭日は開館)、年末年始
 ※展示替えによる臨時休館あり

■ 住所
 〒733-0833 広島市西区商工センター2丁目3番1号 エクセル5階
 TEL (082) 276-2600

■ ホームページ <http://www.izumi-museum.jp/>